

総研大ニューズレター

第 16 号 2009. 9 発行

● 目次

【今月のトピック】 「国立極地研究所、統計数理研究所移転記念式典・祝賀会を開催
情報・システム研究機構」

「相模原キャンパス一般公開、2日連続開催 宇宙科学専攻」

「国立天文台野辺山宇宙電波観測所 電波天文観測実習を開催
国立天文台」

「JSPS サマープログラム報告会・送別会を開催 学務課」

【各種募集】

【イベント情報】

【編集後記】

【今月のトピック】

「国立極地研究所、統計数理研究所移転記念式典・祝賀会を開催」

情報・システム研究機構は、国立極地研究所及び統計数理研究所の立川移転を記念して、7月24日に記念式典及び祝賀会を開催しました。



記念式典で挨拶を述べる堀田機構長

記念式典は立川キャンパスの総合研究棟交流アトリウムで開催され、ご臨席賜った高円宮妃殿下からお言葉をいただき、続いて山内文部科学副大臣から祝辞が述べられました。文部科学省からは、磯田研究振興局長、藤木研究開発局長をはじめとする関係各位、さらに大学等研究機関の各位、並びに立川市から地元関連機関の各位など、約 290 名の方々にご出席いただきました。高円宮妃殿下は引き続き立川キャンパス内をご見学され、キャンパス内 3 研究所への理解を深められました。

祝賀会は会場をパレスホテル立川に移して開催され、坂田文部科学事務次官、清水立川市長、西田宇宙科学研究所名誉教授、高畑総合研究大学院大学長から祝辞をいただいたほか、文部科学省泉科学技術・学術政策局長はじめ関係各位、両研究所ゆかりの方など約 420 名にご出席いただき、立川キャンパスでの新たな出発を祝していただきました。



津波データ同化計算の 3D 表示をご覧になる高円宮妃殿下



祝賀会で祝辞を述べられる坂田事務次官

【情報・システム研究機構 WEB ページの記事より】

「相模原キャンパス一般公開、2 日連続開催」

7 月 24 日（金）から 25 日（土）にかけては、年に一度の相模原キャンパスの一般公開（今年 5 月から見学コースを常時公開していますので、「特別公開」という表現の方が正しいか）でした。日食の直後という日程には賛否両論がありました。8 月にずれ込んで来場者数が大きく減った昨年の教訓を活かし、地域住民の大多数の予定を優先して決定したものです。



今年は 2 日間連続しての公開を試行しています。これは過去の一般公開の来場者アンケートのリクエストで最も多かった「内容が充実しすぎていて 1 日では回りきれない」、「2 日間ないし年 2 回開催してほしい」などの多数意見に応えたもので、過去にも何回も検討され、職員の体力や経費や代休取得の観点から実施が見送られてきたものです。今回は、当初案の土日連続開催でなく金土の連続開催とすることで、職員の動員率の向上を試み、代休取得の問題も回避しました。職員の体力や集中力が 2 日間持つかどうかは心配でしたが、私自身が土日連続のイベント対応を常日頃行っている経験から、なんとかこなせるのではないかと期待したものでした。

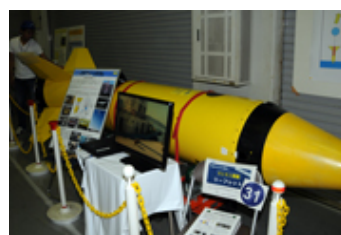
同時に、「混雑していて押し出される」などの問題にも取り組んでいます。昨年同様に各ブースには、動線や人のよどみを意識したブース作りや、行列の短縮、待ち時間の告知、待ち時間の有効利用に向けた取り組みをお願いしています。また、隣接する相模原市立博物館、共和小学校に加えて、今年は向かいにある東京国立近代美術館フィルムセンター相模原分室にも協力を依頼し、会場の拡大に努めました。初日の来場者は平日で雨だったせいもあってか 4320 人（JAXA 相模原キャンパス会場のみを集計）にとどまりましたが、

「用事と重ならない日に来られるのがよい」、
「2日あると思うとあせらず落ち着いて回れる」、
「来場者が分散したので混雑を避けてじっくり見学できた」
など、来場者の評判はまずまずのようです。



日程と会場の拡大に伴って、実施内容に変化を持たせてマンネリを打破することも可能になりました。例えば今回初参加となった東京国立近代美術館フィルムセンターの映写ホールでは、リクエストの多かった大人向けの宇宙科学セミナーを実施しました。初日は月惑星探査プログラムグループの橋本樹明教授による「月惑星探査の魅力」の話、2日目は理学委員長の中村正人教授による「金星探査機 PLANET-C」の話と工学委員長の稲谷芳文教授による「宇宙旅行と再利用ロケット」の話を2本立てという充実した講師陣。平均で百数十名を数えたコアな参加者も、全ての疑問にその場で回答をもらってスッキリです。

相模原市立博物館でも、大会議室を使用して子供向けの「ミニミニ宇宙学校」（2日間で講師がのべ8名でするので、「ミニ」でも何でもないので）を開催するだけでなく、今年はデジタルドームシアターを利用した「かぐや」の立体映像“3D MOON”の無料上映を行いました。世界天文年の天体写真展「地球から宇宙へ」もホワイエで実施しています。



各ブースでも、グッズ類などを減らして原点回帰することで、全体として昔の「宇宙研らしさ」を取り戻そうとしています。受付で2穴バインダーを配り、各ブースに統一フォーマットの穴あきリーフレットを置くことで、全部回ると30ページを超える「宇宙のなぞに挑戦！ ミニミニ図鑑」が完成するというような企画も実行に移されました。また、PLANET-Cプロジェクトチームの計らいで、来年度の春頃に打ち上げ予定の金星探査機 PLANET-C のフライトモデルの公開も急遽行われました。子供たちに人気の水ロケット工作教室は、金曜は降雨のために中止となり、土曜のみの開催となりましたが、もし2日とも実施していたら担当者の体力が持たなかったのではないかと危惧されるところで、来年度にどのように行うかは課題だと思います。

2日目の来場者だけでも昨年実績をかなり上回る 9268 名。2日間の合計で 13588 名と出ました。反省すべき点もいっぱいありますので、アンケートや皆さんからのメッセージを集計しつつ、反省会での裁きを待つことにします。

【ISAS メールマガジンより転載、写真：JAXA WEB ページより】

「国立天文台野辺山宇宙電波観測所 電波天文観測実習を開催」

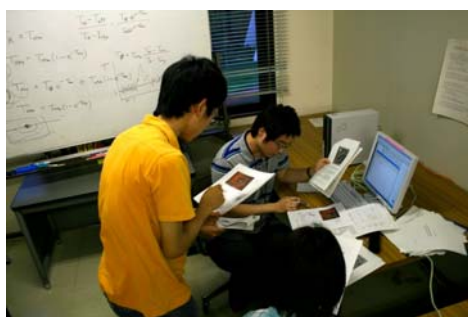
国立天文台野辺山宇宙電波観測所では、総研大「夏の体験学習」として、理科系の大学生を対象に電波天文観測実習を毎年実施しています。今年も8月3日から7日までの4泊5日で開催しました。参加者は書類選考で選ばれ、8名の大学生に参加していただきました（北海道大学、茨城大学2名、慶応大学、千葉大学、筑波大学、信州大学、大阪教育大学）。



この実習は、研究の最前線で活躍する4.5m電波望遠鏡を実際に使った観測実習を通して、電波天文学の実際に触れてもらうのがねらいとなっています。また、研究者が普段行っているのと同じように、観測からデータリダクション、データ解析といった研究の手順を体験してもらい、研究の楽しさを知ってもらうことも期待しています。

実習の内容は、20GHz帯のアンモニア分子輝線を用いて、銀河系内の分子雲（分子ガスの塊）を観測し、分子ガスの光学的厚さや温度といった物理状態を調べ、さらには他波長で見られる星形成活動との関係を考察するというものです。4人ずつの2班に分かれて行いますが、得られたデータをもとに、グループ内で寝る時間を惜しんでの議論が続けられていました。最後は成果をまとめて、所員も含めての報告会で発表してもらいました。参加した皆さんにとっては、限られた時間で観測から発表準備まで行うのはかなり大変そうでしたが、実習後のアンケートを読むと、電波で宇宙を観測することの魅力に加え、観測データから実際にいろいろな情報を引き出し、自分たちでいろいろと推測するという、普段の授業とは違った研究の楽しさを味わってもらえたようです。

過去にこの観測実習に参加した中から、何人もの人が電波天文学の道に進んでいます。今年の参加者の中からも電波天文学者として活躍する人が出てくれることを期待しています。



【文責 国立天文台野辺山宇宙電波観測所 久野成夫 准教授】

「JSPS サマープログラム報告会・送別会を開催」



研究成果を報告する若手研究者

JSPS サマー・プログラムで、アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・カナダから来日した113名の若手研究者が、全国各地の受入機関での2ヶ月間の研究活動を終え、8月25日に一堂に会しました。報告会では代表7名による研究成果が報告され、活発な質疑応答が行われました。

引き続き、日本での受入研究者、本国の指導教授、6月に総研大で行われたオリエンテーションの際実施されたホームステイ先の家族148名などを交え、送別会が盛大に行われました。会場では久しぶりに再会した仲間やホストファミリーと、日本最後の夜に名残を惜しむように思い出を語り、記念の写真を撮る光景があちらこちらで見られました。



挨拶をする高畑学長



送別会

【文責 学務課】

【各種募集】・・・現在公募中の情報を掲載しています。

事 項	応募期間	提出先
平成22年度NAOJシンポジウム 研究公募	平成 21 年 10 月 15 日(木)まで	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000183.html		
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初 日の前月 1 日ま で)	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000175.html		

【イベント情報】・・・オープンキャンパス, 入試説明会, 入試など大学行事に関わるもの。

9月

日程	時間	行事名	場所
30 日(水)		学位記授与式	葉山キャンパス

10月

日程	時間	行事名	場所
1 日(木)		統計数理研究所 移転	立川総合研究棟
4 日(日)		平成 21 年度 地域文化学専攻・比較文 化学専攻大学院説明会	国立民族学博物館 第 3 セミナ 一室
5 日(月) -7 日(水)		平成 21 年度総研大レクチャー「英語によ る研究交流」	総研大葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/education/education/lecture.html			
8 日(木)		入学式	葉山キャンパス
10 日(土)	13:00-16:00	日本歴史研究専攻大学院説明会	国立歴史民俗博物館 大会議 室
http://www.rekihaku.ac.jp/kenkyuu/soken/kouen/soken_setsume.html			
17 日(土) -18 日(日)		文化科学研究科 学術交流フォーラム 「極限の文化一人はどこで生きている か、生きられるかー」	国立民族学博物館 講堂
31 日(土)	14:00-16:30	総研大男女参画フォーラム 「実り多い未来へ～世界のワーク・ライ フ・バランス～」	神奈川県立地球市民かながわ プラザ 映像ホール 主催:総合研究大学院大学
未定 (1 日間)		日本歴史研究専攻広報のための大学院 講演会および説明会開催	国立歴史民俗博物館

11月

日程	時間	行事名	場所
3日(火・祝日)	10:30-12:30	先導科学研究科学術講演会	総合研究大学院大学葉山キャンパス 共通棟2階講義室
8日(日)	10:00-16:00	基礎生物学専攻・生命共生体進化学専攻合同大学院説明会	東京ガーデンパレス
13日(金)	17:00-19:00	情報学専攻; 入試説明会	国立情報学研究所 20階講義室
	http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=931		
16日(月)	13:30-17:30	第二回 合同フォーラム	学術総合センター 一橋記念講堂
	http://www.soken.ac.jp/news_all/0852.html		
16日(月)	10:00-12:30	総研大一般向け大学紹介	学術総合センター 中会議場
	http://www.soken.ac.jp/news_all/0853.html		

<基盤機関の行事>

9月

日程	時間	行事名	場所
2日(水)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座「ネット時代の社会心理－インターネットは地域社会をどう変えるのか?－」	学術総合センター 2階中会議場 主催 国立情報学研究所
	http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=315		
6日(日)		高エネルギー加速器研究機構 一般公開	KEK
	http://www.kek.jp/openhouse/		
6日(日)	14:30-15:30	第129回 みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 点字の宇宙－なぜ「点展」ではなく「点天展」なのか－	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html		
8日(火)	14:00-16:00	第226回 日文研フォーラム; 「日本の技術者とフランスの技術者－技術革新の担い手－」	ハートピア京都 主催 国際日本文化研究センター
	http://www.nichibun.ac.jp/event/forum.html		

10日(木) -12月8 (火)		特別展「自然のこえ 命のかたちーカナダ先住民の生みだす美」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/special/canadian/canadian_s.pdf			
11日(金)	19:30-20:30(受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			
12日(土)		第309回歴博講演会「中国の棚田ー雲南省の辺境に生きる人々ー」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
15日(火)ー 12月13日 (日)		ミニ企画展示:金箔と刺繍のきらめきー慶長小袖~野村コレクションより~	国立歴史民俗博物館
19日(土)	13:30-15:00	第376回 みんなくゼミナール 「イヌイト・アートの世界ー極北からのメッセージ」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar09.html#s376			
23日(水)	10:00-17:10	第8回自然科学研究機構シンポジウム	学術総合センター 主催 自然科学研究機構
25日(金) -10月23日 (金)		「近世小説特別展」	国文学研究資料館
http://www.nijl.ac.jp/contents/events/index.html			
26日(土)	13:30-16:30	みんなく映画会「グラン・トリノ」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/movies0909.html			
26日(土)	13:30-15:30	第126回くらしの植物苑観察会「東海道の名物ー食べ物と土産ー」	国立歴史民俗博物館
26日(土)	19:30-20:30(受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			
27日(日)	13:30-16:30	研究公演 伝統芸能パンソリによる韓国文化の理解	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/performance090927.html			
30日(水)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座「通信の品質保証ー快適な情報通信はいかに実現されるか?ー」	学術総合センター 2階中会議場 主催 国立情報学研究所
http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=315			

30日(水)	10:00-18:00	社会イノベーションを誘発する情報システムに関する国際ワークショップ	学術総合センター 主催: 国立情報学研究所 共催: フライブルグ大学 ウィーン工科大学
http://www.nii.ac.jp/issi/			

10月

日程	時間	行事名	場所
2日(金)	14:00-17:00	平成21年度第2回軽井沢土曜懇話会	国際高等セミナーハウス(軽井沢) 主催: 国立情報学研究所
http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=314			
9日(金)	18:30-19:30(受付時間)	定例観望会	会場: 国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			
10日(土)	14:00-16:00	第310回歴博講演会 「縄文土器のなぞを探る」	国立歴史民俗博物館
14日(水) - 1月24日(日)		企画展示: 縄文はいつから!? - 1万5千年前になにがおこったのか -	国立歴史民俗博物館
17日(土)	13:00-17:00	第6展示室関連フォーラム: 第71回 「占領下の民衆生活」	国立歴史民俗博物館 講堂
24日(土)	14:00-17:00	平成21年度第3回軽井沢土曜懇話会	国際高等セミナーハウス(軽井沢) 主催: 国立情報学研究所
http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=314			
24日(土)	10:00-19:00 (三鷹・星と宇宙の日、 * 昼間は金星、アークトゥルス、ベガなどを観察。 * 16:30以降は月を観察)	定例観望会	会場: 国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			

24日(土)	10:00-19:00	三鷹・星と宇宙の日	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
	http://www.nao.ac.jp/open-day/		
24日(土)	13:30-15:30	第127回くらしの植物苑観察会「江戸時代のバラ」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
31日(土) - 11月15日 (日)		重要文化財 洛中洛外図屏風甲本公開 (第2展示室)	国立歴史民俗博物館

11月

日程	時間	行事名	場所
3日(火・祝) -29日(日)		くらしの植物苑特別企画「伝統の古典菊」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
9日(月) -23日(月)		「平安研究プロジェクト展示」	国文学研究資料館
	http://www.nijl.ac.jp/contents/events/index.html		
13日(金)	18:30-19:30(受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
	http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html		
14日(土)	11:00-12:00	歴博探検「ヒミツの科学調査室」	国立歴史民俗博物館
14日(土)	14:00-16:00	第311回歴博講演会「縄文・弥生時代を炭素14でみる」	国立歴史民俗博物館
21日(土)	13:00-16:50	第72回歴博フォーラム「縄文はいつから!？」	国立歴史民俗博物館講堂
28日(土)	18:30-19:30(受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
	http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html		
28日(土)	13:30-15:30	第128回くらしの植物苑観察会「菊の栽培書」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑

<教員の受賞情報>

文化科学研究科

メディア社会文化専攻

- 鈴木栄幸 茨城大教授(元総研大)及び 加藤浩 ICT活用・遠隔教育センター長
日本科学教育学会論文賞 受賞

生命科学研究所

基礎生物学専攻

- 新谷隆史 助教 及び 野田昌晴 教授
平成21年度日本生化学会JB論文賞 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター第 16 号をお届けします。

天候不順だった夏も終わり、朝夕は秋の気配が感じられるようになりました。空気も少しずつ澄み渡ってきたようで、今日は久しぶりに葉山から富士山を見ることができました。

JSPS サマープログラムの報告会でも富士山に登ったというフェローも多く、やはり富士山の美しい姿は日本の象徴であると改めて感じました。

今月号は極地研と統数研の立川への移転記念式典・祝賀会がトップニュースになっています。先に移転した国文学研究資料館を含めて本学の基盤機関の 3 つが集まったこととなります。新たな出発をお祝いするとともに、本学の教育・研究拠点として 3 つの機関が今後益々ご発展することを祈念いたしております。

〔総務課〕

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2009 年 9 月 1 日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2009 SOKENDAI